

編集後記

『早稲田オペラ／音楽劇研究』創刊号をお届けいたします。本号には論文2本、研究ノート2本に加え、特別寄稿1本が収録されています。創刊号ということで研究所内での公募はせず、すべて依頼原稿とさせていただいたことを記しておきます。特集の冒頭でも述べましたが、この号は2017年度12月研究例会(第167回オペラ研究会)「<モンテヴェルディ生誕450年記念シンポジウム> モンテヴェルディのオペラから広がるバロック・オペラの世界」に依拠する特集号として編集をおこないました。すなわち、論文および研究ノートは当日の発表に基づいたものであり、特別寄稿はシンポジウム当日、演奏者におこなったインタビューが元になっています。

ここで創刊までの歩みにふれたいと思います。研究所の雑誌を発行するための検討は、2016年2～3月に、荻野所長、岡本佳子委員、山本まり子委員によっておこなわれました。1年ほどの中断の後、2017年4月に準備委員会立ち上げが運営委員会で決定され、その時点で長谷川悦朗委員、萩原里香委員が加わりました。その後、現委員が徐々に加わり、11月からは「準備」が取れた「雑誌編集委員会」がほぼ毎月開催され、刊行準備にあたってきました。「編集委員会」への移行に伴い退任された岡本委員、山本委員、長谷川委員におかれましては、立ち上げ初期に実りある検討をしていただいたお陰で実現にこぎ着けることができたこと誠に感謝いたしております。

「まずは創刊号を出す」を合言葉に、委員総勢8名でここまで辿り着きましたが、その間には、事務手続きのミスや投稿規程の不備など、数多くのご迷惑を関係者の皆さまにおかけしたことを深くお詫び申し上げます。これはひとえに、まとめ役大河内の力不足に責任があります。

最後になりましたが、本号の論文および研究ノートは以下の方々に査読をお願いいたしました。ここに名前を記し、感謝申し上げます。

加藤拓未、小石かつら、澤田肇、田島容子、中田朱美、平野恵美子、松本直美、森佳子、山田高誌、山本まり子(敬称略、五十音順)

(2018年7月29日 大河内文恵 記)

編集委員(五十音順)

大河内 文恵 荻野 静男 加藤 恵哉 神竹 喜重子
舘 亜里沙 新田 孝行 Sylvie Brosseau

英文校閲

Anthony Newell
Brooke McCorkle